

令和4年4月入学（第1期）
地域創生科学研究科博士前期課程
入学試験問題

工農総合科学専攻
森林生産保全学プログラム
「樹木学」

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. 森林生産保全学プログラムでは、専門科目1科目を課します。
2. 出願時に届け出た専門科目を受験してください。
3. 解答用紙には受験番号と答案を記入してください。
4. 試験終了後は、解答用紙を回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和4年4月入学

地域創生科学研究科博士前期課程入学試験問題

科目名 樹木学	専攻・学位プログラム名 工農総合科学専攻 森林生産保全学プログラム
------------	---

次の設問（問1～問5）に答えよ。設問は裏面にもあるので注意せよ。

問1 樹木の定義を挙げて説明せよ。

問2 ある一つの学名の採用は、それに対応した一つの分類学的見解を支持することに他ならない。林業樹種であるヒノキの学名を、次の3つの見解それぞれの立場で記せ。なお、学名を記すに当たってイタリック表記の部位には必ず下線を付すこと。命名者名は記さなくてよい。

見解1：ヒノキは日本と台湾に天然分布する。ヒノキは種内分類群を持たず、台湾に天然分布する集団は日本の集団と分類学的に区別できない。

見解2：ヒノキは日本固有の分類群で、台湾に天然分布する集団は日本のヒノキと区別して、種内分類群（変種）のタイワンヒノキ（*Chamaecyparis obtusa* var. *formosana*）として扱われるべきである。

見解3：ヒノキは日本固有種で、種内分類群を持たない。台湾に天然分布する集団は別種のタイワンヒノキ（*Chamaecyparis taiwanensis*）として扱われるべきである。

問3 樹木の花と性に関して、以下の①～③に答えよ。

① 単性花と両性花の違いについて説明せよ。

② 雌雄両全株と雌雄同株の違いについて説明せよ。

③ 以下の樹種のうち、雌雄異株のものをすべて選べ。

【シラビソ、イチョウ、トチノキ、ヒノキ、ヤマモモ、スダジイ、カヤ】

問4 本州の太平洋側のある地点の月別の平均気温を次ページの表に示した。温量指数を求めよ。また、温量指数から推定されるこの地点の植生帯名を挙げ、その植生帯で優占的にみられるモミ属、ブナ属、コナラ属の各1種の標準和名を記せ。

表 本州のある地点の 1981 年～2010 年の月別の平均気温

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温 (°C)	-4.1	-3.9	-0.7	5.0	9.9	13.7	17.7	18.7	14.9	9.1	4.0	-1.0

問 5. 修士論文において研究対象としたい分類群の標準和名を 1 つ挙げ、科名、属名、種の性、送粉様式、散布様式、葉序、地理的分布、分布する植生帯、生息環境についてそれぞれ知るところを記せ。

令和4年4月入学（第1期）
地域創生科学研究科博士前期課程
入学試験問題

工農総合科学専攻 森林生産保全学プログラム
「育林学」

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. 森林生産保全学プログラムでは、専門科目1科目を課します。
2. 出願時に届け出た専門科目を受験してください。
3. 答案は試験問題ごとに別の解答用紙を用い、それぞれに受験番号、試験科目名及び問題番号を記入してください。
4. 試験終了後は、解答用紙及を回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和4年4月入学

地域創生科学研究科博士前期課程入学試験問題

科目名 育林学	専攻・学位プログラム名 工農総合科学専攻 森林生産保全学プログラム
----------------	---

次の1～2の問題すべてに解答せよ。

1. 皆伐後の再造林から林冠閉鎖前までの育林作業について列記し、それぞれの目的、方法について説明せよ。さらに上記の作業での省力化の現状について述べよ。

2. 日本列島の森林帯の水平分布について区分し、その分布を規定する気候条件と各森林帯の主要樹種を2種まであげよ。また、各森林帯と結びついている成帯土壌について、それぞれの森林土壌（土壌群）の特徴を述べよ。